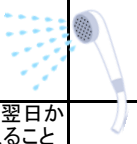


クリニカルパスウェイ
 膵頭十二指腸切除を受ける患者さんへ

2017年4月作成
 東京慈恵会医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外科外来	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2～3日目	術後4～6日目	術後7～14日目	退院後の生活
日時	月 日	月 日	月 日 時頃		月 日	月 日～ 月	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日
目標	☐ 手術に向け体調を整えましょう ☐ 疾患、術式を理解した上で術式選択をしましょう	☐ 手術の準備をしましょう	<手術前> ☐ 安全に手術が受けられるよう準備をしましょう	<手術後> ☐ 身体の回復を促しましょう ☐ 痛みは我慢せず医療者に伝えてください	☐ 術後の回復を促すため出来る限り離床を行って行きましょう ☐ 痛みは我慢せず医療者に伝えてください	☐ 術後の回復を促すため出来る限り離床を行って行きましょう ☐ 痛みは我慢せず医療者に伝えてください	☐ 傷の回復を促しましょう	☐ 退院に向け全身状態を整えていきましょう	☐ 診察後、午前中に退院となります
食事	☐ 特に制限はありません ☐ 栄養バランスのとれた食事を心がけてください	☐ 手術前日より絶食です ☐ 飲水に関しては麻酔医より指示があります	☐ 絶飲食です 	☐ 絶飲食です	☐ 医師指示にて、水の摂取が可能となります(飲水・食事はできません)	☐ 状態を見て飲水可となる場合があります	☐ 医師指示にて流動食から食事開始となります(一日ずつ食事形態があがります) ☐ 医師からの指示が出るまでは病院食以外は摂取しないようにしましょう	☐ 常食です 	☐ 特に制限はありません
活動	☐ 特に制限はありません	☐ 特に制限はありません	☐ 特に制限はありません ☐ 手術着に着替えてください	☐ ベッド上安静です	☐ ベッドに座る練習から始め廊下歩行していきます			☐ 特に制限はありませんが管には気を付けましょう	☐ 特に制限はありません
検査処置	☐ 手術に必要な検査を行います(採血・尿検査・レントゲン・呼吸機能検査・心電図等)	☐ 必要時、他科の診察があります ☐ お臍の処置があります ☐ 前々日の夜、前日に下剤の内服があります		☐ 酸素投与を行います ☐ 術後より血糖測定を開始します	☐ 採血・レントゲンがあります ☐ 傷の状態、ドレーンの性状・量などを観察します	☐ 術後3日目または4日目に採血・レントゲンがあります ☐ 歩行が問題なく行えた場合尿道の管を抜去します	☐ 医師診察のもとドレーンを抜去します ☐ 術後7日目採血・抜鉤があります	☐ 術後7日目に採血・レントゲンがあります ☐ 管の抜去時期は検査結果をもとに医師が調整します	☐ 外来予約票をお渡しします
薬	☐ 手術前に休薬する薬はがある場合は期日を守ってください ☐ 市販薬・サプリメントは手術に影響するものがあるため、2週間前より服用しないでください ☐ 入院時に常用薬をお持ちください	☐ 入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください ☐ 常用薬は医師の指示に従い、内服してください ☐ 薬剤師から薬の説明があります	☐ 常用薬は医師の指示に従い、内服してください	☐ 常用薬は中止 ☐ 抗生剤の点滴をします ☐ 適時、痛み止めや吐き気止めの点滴をします	☐ 点滴があります 	☐ 点滴があります ☐ 常用薬は医師の指示に従い再開します	☐ 点滴から内服薬に切り替わります		☐ 医師の指示に従ってください
清潔	☐ 特に制限はありません	☐ 入浴してください ☐ 爪を切ってください	☐ 入浴はできません	☐ 適時うがいをし、口腔内を清潔にしてください	☐ 入浴はできません ☐ 尿の管が入っているため一日一回洗います ☐ 全身を蒸しタオルで拭きます	☐ 洗髪ができます 必要時看護師が助しますので、お声掛けください	☐ ドレーンが抜けた翌日から全身シャワーに入ることができます		☐ 特に制限はありません
指導説明	☐ 入院・手術についての説明があります ☐ 喘息やアレルギーがある方は医師・看護師に知らせてください ☐ 喫煙されている方は、術後痰が多くなりやすく、傷の回復に影響を及ぼす可能性がありますので禁煙に努めてください	☐ 病棟案内があります ☐ 看護師より手術前後の説明があります <入院時必要物品> ☐ 常用薬 ☐ 同意書一式 ☐ この説明書 ☐ 日常生活物品		☐ 手術部位の管(ドレーン)を引っ張らないように注意しながら、寝返りをうつことができます 身体で管をつぶしたりしないよう気をつけてください	☐ 手術部位の管(ドレーン)を引っ張ったり、身体の下に巻き込んだり、臀部で踏んだりしないよう気をつけてください ☐ 痛みや吐き気は我慢せず看護師に伝えましょう	☐ 管(ドレーン)を引っ張ったり、身体や臀部で踏まないよう注意してください	☐ 創部を清潔に保てるよう心掛けましょう	☐ 看護師より退院後の生活について指導を行います	☐ 創部に発赤や腫脹、熱感、疼痛がある場合は、電話連絡の上、外来受診してください ☐ 暴飲暴食はしないでください